

McAfee WebGateway  
Version7  
設定バックアップ・リストア手順書

---

平成 29 年 8 月 18 日  
株式会社ディアイティ  
ネットワークセキュリティ事業部

## 目次

1	はじめに .....	3
1.1	本書の目的 .....	3
2	設定バックアップ .....	4
2.1	WebUI へのログイン .....	4
2.1.1	ブラウザがユーザーインターフェースに対応していない場合 .....	4
2.2	バージョン・ビルドの確認 .....	5
2.3	バックアップ手順 .....	6
2.4	バックアップに含まれない設定 .....	7
2.4.1	Windows Domain Membership (NTLM 認証) .....	7
2.4.2	シリアルポート転送レート設定 .....	8
3	設定リストア .....	9
3.1	WebUI へのログイン .....	9
3.2	バージョン適合確認 .....	9
3.2.1	バージョン情報が同一である場合 .....	9
3.2.2	バックアップ取得した際のバージョンと、MWG のバージョンに差異がある場合 .....	9
3.3	リストア実施 .....	10
3.3.1	同一筐体 .....	10
3.3.2	異なる筐体 (RMA 等で交換された場合) .....	11
3.4	リストア対象外の設定 .....	11
3.4.1	Windows Domain Membership (NTLM 認証) .....	11
3.4.2	シリアルポートの転送レート設定 .....	11

# 1 はじめに

## 1.1 本書の目的

本書では、McAfee Web Gateway(MWG) Version7 の設定バックアップ及びリストア手順を記載します。

なお、「3.3 リストア実施」にもありますとおり、設定のリストアは基本的に WebUI から実施しますので、WebUI 接続に必要な IP アドレスやルーティング等 Policy 以外の設定項目については、可能であれば紙の資料など設定バックアップファイル以外の方法での記録をお願いいたします。

本書作成時の MWG 最新バージョンは 7.7.2.3.0 となります。

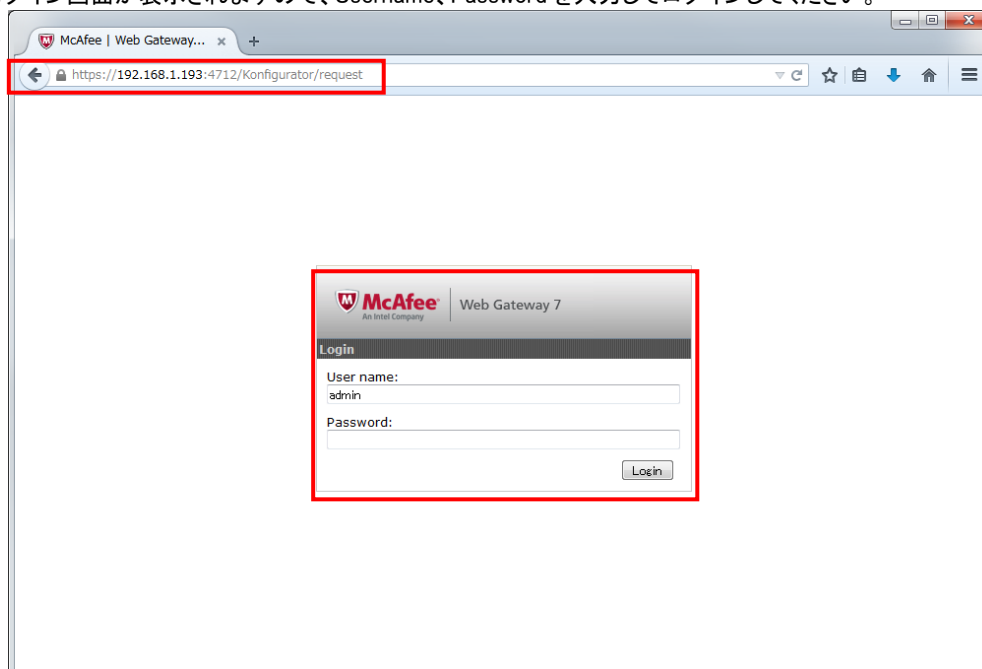
## 2 設定バックアップ

### 2.1 WebUI へのログイン

MWG Version7 にブラウザからログインします。以下の URL へアクセスしてください。

https://MWG の IPaddress:4712/

ログイン画面が表示されますので、Username、Password を入力してログインしてください。



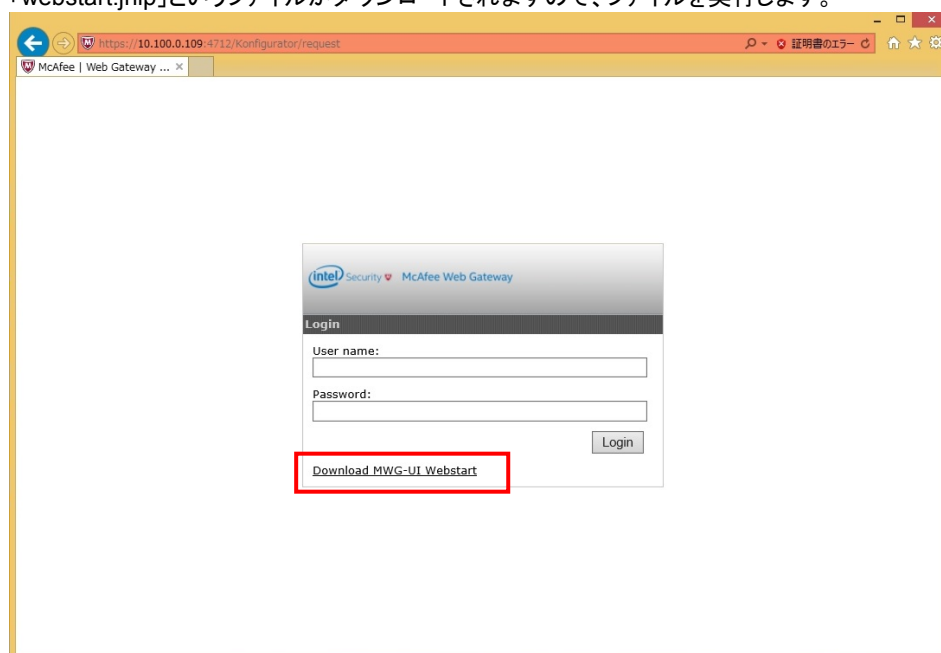
#### 2.1.1 ブラウザがユーザーインターフェースに対応していない場合

Google Chrome、Mozilla Firefox などの一部のブラウザは、プラグイン アーキテクチャの関係で MWG のユーザーインターフェースに対応していません。今後、サポートを終了するブラウザもあります。

これらのブラウザを使用している場合には、ログイン画面を開いて Web Start アプリケーションをダウンロードすると、ブラウザなしでユーザーインターフェースを実行できます。(MWG v7.6.1 以降から利用可能)

[Download MWG-UI Webstart] をクリックします。

「webstart.jnlp」というファイルがダウンロードされますので、ファイルを実行します。



Web Start アプリケーションがダウンロードされます。ダウンロードが完了すると、別のログイン画面が開きますので、Username、Passwordを入力してログインしてください。

[詳細] オプションを使用すると、MWG の IP アドレスとポートを設定して、SSL セキュア通信を使用できます。SSL のデフォルトポート番号は 4712 です。それ以外の場合は 4711 です。

- Central Management 機能有効時の注意事項

Central Management 機能で複数台の MWG で設定を同期している場合には、仕様により 1 号機にログイン中は、2 号機にログインすることはできません。逆に 2 号機にログイン中は 1 号機にログインできません。

また、1 号機をログアウトしたあと、続けて 2 号機にログインするためには、60 秒以上経過してからログインする必要があります。

## 2.2 バージョン・ビルドの確認

ログイン後、バージョン・ビルド情報の確認を行います。

以下画面の場合、UI Version 7.3.2.11(17883)…の部分バージョン・ビルド情報です。

Appliance Name	Performance		McAfee Anti-Malware Versions				URL Filter	
	Alert peaks, last 7 days	Requests per second	Last update	Gateway Engine	Gateway DATs	Engine DATs	Last update	Version
mwgappl	<span style="color: green;">■</span>	0	23 minutes ago	7001.1302.1842	3056	5600 7535	23 minutes ago	48009

Appliance Filter	Date Filter	Message Filter
All	All	All
mwgappl	20-Aug-2014 11:04:33 JST	<span style="color: green;">■</span> 9 CRLs have been updated (Origin: Certificate chain filter)
mwgappl	20-Aug-2014 11:04:33 JST	<span style="color: yellow;">■</span> 1 of the recently updated CRLs for the certificate chain filter can not be loaded (Origin: Certificate chain filter)

## 2.3 バックアップ手順

Troubleshooting>Backup/Restore に移動し、「Backup to file...」をクリックします。

ブラウザの保存ダイアログが表示されますので、ファイルをローカル PC 上に保存します。

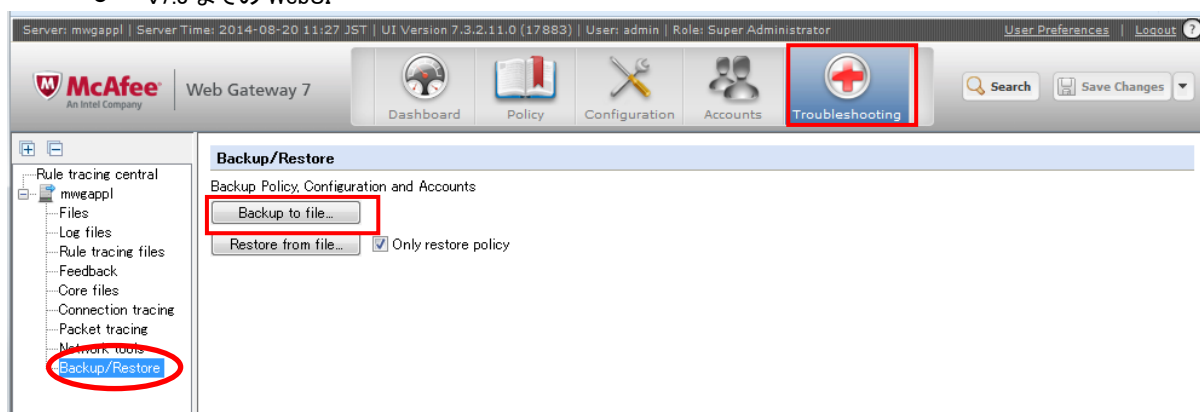
デフォルトのファイル名は、日付.backup という名前になるため、対象機器やバージョン情報がわかりません。バックアップを取得した際の対象機器、バージョン情報、日付が分かるように、ファイル名にホスト名、バージョン情報を加えて下さい。

(例) ditwg.7.4.2.2.0\_17923\_2014-08-20.backup  
[ホスト名.バージョン情報\_ビルド情報\_日付.backup]

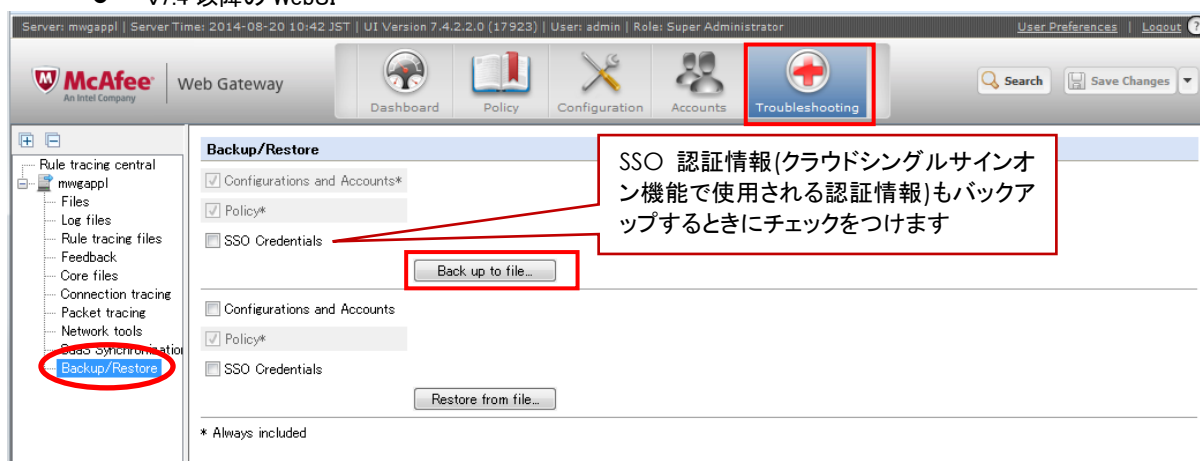
バックアップの対象は WebUI から行った設定のみです。CLI から行った設定、編集した設定についてはバックアップ対象ではございませんので、別途バックアップをお願い致します。

以上で設定バックアップは完了です。

### ● v7.3 までの WebUI



### ● v7.4 以降の WebUI



### ● Central Management 機能有効時の注意事項

Central Management 機能を有効にして、複数台の MWG で設定を同期している場合には、1 台にログインすると、その他の MWG の設定も表示されますが、Backup/Restore メニューは、ログイン中の MWG のみ表示されず。

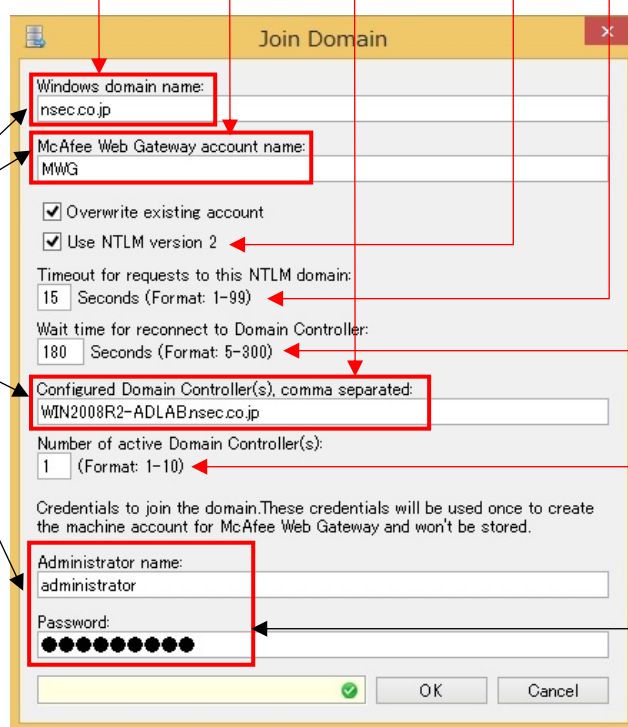
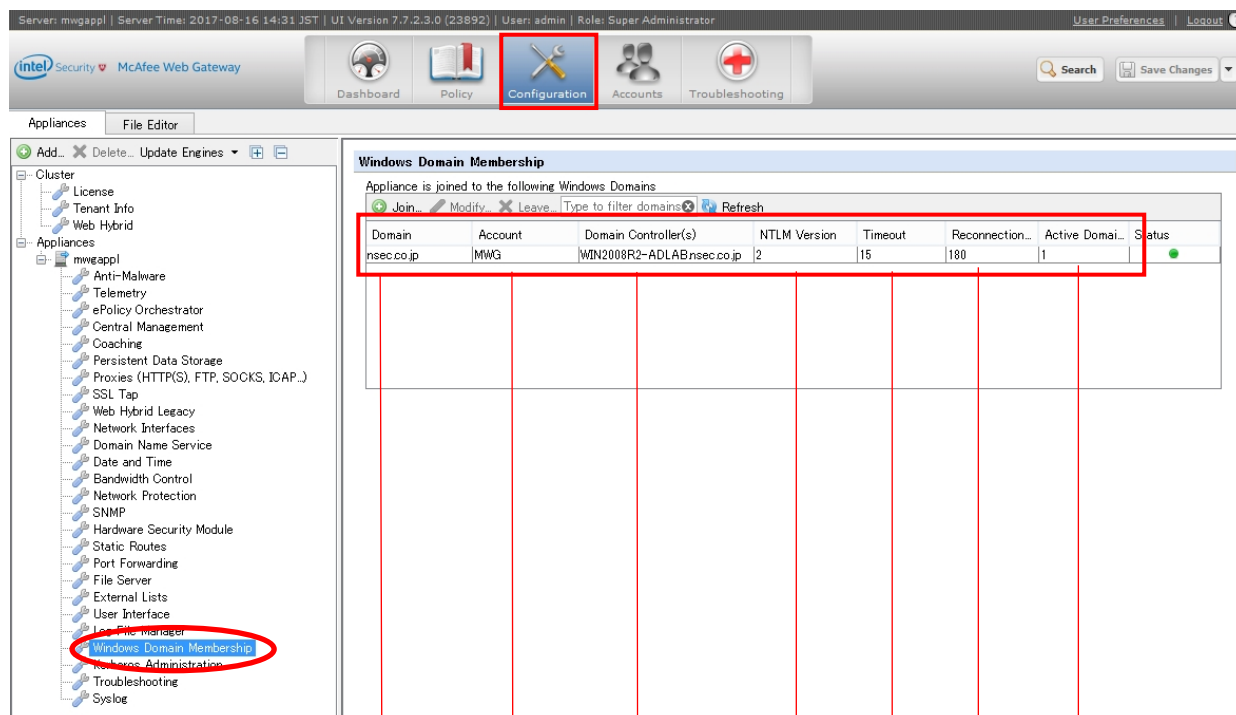
1 号機、2 号機で設定を同期している場合は、1 号機にログインして 1 号機の設定バックを取得したあと、一旦ログアウトし、60 秒以上経過したあと、2 号機にログインして 2 号機の設定バックアップを取得します。

## 2.4 バックアップに含まれない設定

下記項目につきましてはバックアップに含まれないため、リストア後に手動で設定を行う必要があります。そのため、設定内容を事前に紙面等で控えリストアに備えご準備ください。

### 2.4.1 Windows Domain Membership(NTLM 認証)

NTLM 認証利用時、MWG は GUI の [Configuration] > [Appliances] > ホスト名 > [Windows Domain Membership] よりドメイン参加の設定を行っております。



赤枠内の設定箇所が必須項目となります。

Administrator name および Password は MWG に保存されません。

#### 2.4.2 シリアルポート転送レート設定

一部の環境でシリアルポートの設定値を変更される場合があります。  
(ほぼ UPS 利用のための設定変更です)

MWG の CLI にログインし、/etc/init に移動します。  
ttyS0.conf を開き、ファイル中に以下の記載があることを確認します。  
(デフォルトでは 9600 ではなく 19200 となっております)

```
exec /sbin/agetty /dev/ttyS0 9600 vt100
```



## 3 設定リストア

### 3.1 WebUI へのログイン

設定バックアップの際と同様、「2.1WebUI へのログイン」の手順にてログインを行います。

### 3.2 バージョン適合確認

リストアを実行する前に、バックアップ取得した際の MWG のバージョンと、これからリストア対象機器のバージョンをご確認ください。バックアップファイルのバージョン情報については、バックアップファイル名をご確認ください。

以下画面の場合、UI Version 7.4.2.2.0 (17923)…の 7.4.2.2.0 の部分が同一であることをご確認ください。build に差異がある場合でも、問題なくリストアすることが可能です。下記の例では、17923 が build 番号です。

The screenshot shows the McAfee Web Gateway management console. At the top, the status bar indicates 'Server: mwgappl | Server Time: 2014-08-20 13:14 JST | UI Version 7.4.2.2.0 (17923) | User: admin | Role: Super Administrator'. Below this, there are navigation tabs for Dashboard, Policy, Configuration, Accounts, and Troubleshooting. The main content area is divided into 'Alerts' and 'Charts and Tables'. Under 'Alerts', there is a table for 'Appliances Status' and another for 'Alerts'.

Appliance Name	Performance		McAfee Anti-Malware Versions				URL Filter	
	Alert peaks, last 7 days	Requests per second	Last update	Gateway Engine	Gateway DATs	Engine DATs	Last update	Version
mwgappl	0	0	131 minutes ago	7001.1302.1842	3056	5600 7535	131 minutes ago	48009

Appliance Filter	Date Filter	Message Filter	Message
All	All	<input checked="" type="checkbox"/> Error <input checked="" type="checkbox"/> Warning <input checked="" type="checkbox"/> Information	
mwgappl	20-Aug-2014 13:14:11 JST		Login successful for user "admin" (192.168.1.65) (Origin: mwg-ui, ID: 1700, 3 times within last 11 minutes)
mwgappl	20-Aug-2014 13:12:56 JST		33 CRLs have been updated (Origin: Certificate chain filter, ID: 1650)

#### 3.2.1 バージョン情報が同一である場合

「3.3 リストア実施」の手順に従ってリストアを実施して下さい。

#### 3.2.2 バックアップ取得した際のバージョンと、MWG のバージョンに差異がある場合

過去のバージョンでバックアップ取得したファイルを、それよりも新しいバージョンにリストアすることは可能ですが、新しいバージョンでバックアップ取得したファイルをそれより過去のバージョンにリストアすることはできません。

例:

v7.3.2.3 でバックアップ取得したファイルを v7.4.2.2 にリストアすることができます。

v7.4.2.2 でバックアップ取得したファイルを v7.3.2.3 にリストアすることができません。

特定バージョンの MWG を構築するためには、下記の Content & Cloud Security Portal サイト(旧称:Extranet)から、構築したいバージョンのインストール用 ISO イメージファイルをダウンロードして、新規インストールを行う必要があります。

[https://contentsecurity.mcafee.com/software\\_mwg7\\_download](https://contentsecurity.mcafee.com/software_mwg7_download)

ログインに必要な ID とパスワードは保守契約サポート証書をご確認ください。

インストールは CD から起動することで自動的に行われます。

詳細は、以下のメーカーナレッジセンターをご確認ください。

McAfee Web Gateway v7.x 新規インストール手順

[https://kc.mcafee.com/corporate/index?page=content&id=KB80726&actp=null&viewlocale=ja\\_JP&showDraft=false&platinum\\_status=false&locale=ja\\_JP](https://kc.mcafee.com/corporate/index?page=content&id=KB80726&actp=null&viewlocale=ja_JP&showDraft=false&platinum_status=false&locale=ja_JP)

不明点は弊社保守サポート窓口までお問い合わせください。

### 3.3 リストア実施

#### 3.3.1 同一筐体

ここでの「筐体」とは WG4000 等の機種ではなく個体を意味します。

IP アドレスやルーティング等 Policy メニュー以外の設定項目のリストアは、WebUI からはバックアップ取得を行った筐体と同一の筐体に対してのみ可能です。異なる筐体に対して Policy メニュー以外の設定をリストアする場合には、次項「3.3.2 異なる筐体(RMA 等で交換された場合)」を参照してください。

Troubleshooting > Backup/Restore に移動し、Restore from file をクリックしてリストアしたいファイルを選択してください。

また、この際に Policy のみをリストアしたい場合には、Only restore policy にチェックをつけてください。

Configuration や Account の項目も全てリストアしたい場合には、Only restore policy のチェックを外してください。

(v7.4 以降では、Configurations and Accounts にチェックをつけます)

#### ● v7.3 までの WebUI

Server: mwgapp1 | Server Time: 2014-08-20 11:27 JST | UI Version 7.3.2.11.0 (17883) | User: admin | Role: Super Administrator

McAfee Web Gateway 7

Dashboard Policy Configuration Accounts Troubleshooting

Backup/Restore

Backup Policy, Configuration and Accounts

Backup to file...

Restore from file...  Only restore policy

Policy のみをリストアする場合にチェックをつけます

基本設定とアカウント情報もリストアするときにチェックを外します

#### ● v7.4 以降の WebUI

Server: mwgapp1 | Server Time: 2014-08-20 10:42 JST | UI Version 7.4.2.2.0 (17923) | User: admin | Role: Super Administrator

McAfee Web Gateway

Dashboard Policy Configuration Accounts Troubleshooting

Backup/Restore

Configurations and Accounts\*

Policy\*

SSO Credentials

Back up to file...

Configurations and Accounts

Policy\*

SSO Credentials

Restore from file...

\* Always included

基本設定とアカウント情報もリストアするときにチェックをつけます

SSO 認証情報(クラウドシングルサインオン機能で使用される認証情報)もリストアするときにチェックをつけます

リストア実施後、自動的にログアウトされますので、再度ログインして**アプライアンスの再起動を行ってください**。再起動後、設定が反映されている事をご確認ください。

以上で設定リストアは完了です。

### 3.3.2 異なる筐体 (RMA 等で交換された場合)

バックアップを取得した筐体とリストア先筐体が別個体である場合、リストアはコマンドラインから実施します。

詳細は、以下のメーカーナレッジセンターをご確認ください。

コマンドラインから backup ファイルをフルリストアする方法

[https://kc.mcafee.com/corporate/index?page=content&id=KB80762&actp=null&viewlocale=ja\\_JP&showDraft=false&platinum\\_status=false&locale=ja\\_JP](https://kc.mcafee.com/corporate/index?page=content&id=KB80762&actp=null&viewlocale=ja_JP&showDraft=false&platinum_status=false&locale=ja_JP)

## 3.4 リストア対象外の設定

一部の設定についてはバックアップに含まれないため、リストア後に手動で再設定を行います。

### 3.4.1 Windows Domain Membership (NTLM 認証)

NTLM 認証を行っている場合、リストア後に再度 MWG がドメインに参加する必要があります。

詳細は、以下のメーカーナレッジセンターの手順 1、2 をご確認ください。

NTLM 認証を使用したアクセス制限について

[https://kc.mcafee.com/corporate/index?page=content&id=KB80715&actp=null&viewlocale=ja\\_JP&showDraft=false&platinum\\_status=false&locale=ja\\_JP](https://kc.mcafee.com/corporate/index?page=content&id=KB80715&actp=null&viewlocale=ja_JP&showDraft=false&platinum_status=false&locale=ja_JP)

### 3.4.2 シリアルポートの転送レート設定

MWG の CLI にログインし、/etc/init に移動します。

ttyS0.conf を開き、ファイル中の 19200 と書かれている部分を 9600 に変更します。

```
exec /sbin/agetty /dev/ttyS0 19200 vt100
↓
exec /sbin/agetty /dev/ttyS0 9600 vt100
```

CLI 上で以下のコマンドを入力または機器再起動を行い、変更の適用を行います。

```
# stop ttyS0
# start ttyS0
```

以上